

# おめでとう! 市制70周年



## 70周年記念誌を発行

70年の歩みや、市にゆかりのある方からのお祝いメッセージ、市民の皆さんの未来の厚木への思いなどを紹介しています。

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2040

- フルカラー32ページ。閲覧用を公民館や図書館などの公共施設に配架します。2月1日から70周年記念サイトで公開
- 表紙は市内出身のアーティスト・井上純さんが描いた70周年記念作品（8面に関連記事）



詳細はこちら

2月1日、厚木市は市制施行70周年を迎えました。

1955年に厚木町、南毛利村、睦合村、小鮎村、玉川村の1町4村が合併して誕生した厚木市。70年の間、時代の流れと共にまちの景観を変えながらも、今も変わらず皆さんの笑顔であふれています。

70周年の節目は新たなスタートです。これからもこのまちに住む皆さんが誇りを感じられ、笑顔があふれるまちであり続けられるよう、未来に向けて歩んでいきたいと思います。

☎企画政策課 ☎225-2450  
《4・5・8面に関連記事あり》

Zoom Up

地域の防犯力を向上

公共施設に防犯カメラを設置

防犯カメラは、犯罪の抑止や犯人の特定・検挙率を高める効果があります。既に設置している中心市街地などに加え、昨年12月から、公民館や公園をはじめとする公共施設への設置を進めています。5年間で約300施設への設置を予定し、防犯力を高めていきます。

市では、2008年から本厚木駅周辺や通学路などに防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止に取り組んでいます。現在、約300台が稼働し、08年に4224件あった市内の刑法認知件数は、23年には1262件に減少しました。防犯カメラは、犯罪抑止の効果が高いことから、公共施設への設置も始めました。

犯罪の抑止に

今年度に設置するのは、公民館や児童館、公園、保育所の60カ所程度。今後は老人憩の家、消防団器具庫などに



施設周辺の公共空間を映し地域の犯罪防止に



24時間稼働する防犯カメラ



防犯意識を高めて  
まずはできることを

厚木警察署  
横田 和道 署長 (59)

犯人などはカメラに映るのを嫌がる傾向にあるため、防犯カメラの設置は、犯罪の抑止に効果があります。また、犯罪発生後の重要な手がかりや証拠につながり、早期の事件解決に欠かせないアイテムです。公園や児童館など約300施設以上の設置は、他市にはない規模の取り組みで、今後の犯罪発生数の減少が期待できます。

犯罪に巻き込まれないためには、「自分の身は自分で守る」という防犯意識が重要です。人けのない場所では周囲に気を配る、日頃から家族で対策を話し合うなど、まずはできることから実践してください。市内では、声かけや付きまといなどの不審者や窃盗、空き巣などが発生しています。不審・不安なことがあれば迷わず110番通報してください。

も設置し、5年間で300施設ほど増やす予定です。設置場所は、厚木警察署と連携し、犯罪が多く発生している場所や、子どもが集まる施設の周囲を優先的に選定。敷地の侵入箇所になり得る隣接道路などが映る効果的な位置に取り付けます。

岡田児童館の河原紀子指導員(59)は、「少人数で常に子どもたちを見守っているのですが、どうしても目が届きにくくなってしまっている部分がある。何も起きないのが一番だが、施設の前は人通りも少ないので、抑止効果のある防犯カメラが設置されるのは安心感につながる」と話します。

みんなで安全を守る

犯罪から身を守るには、日頃から防犯意識を持つことが大切です。戸締りの徹底や、暗い・人通りの少ない道は避ける、防犯ブザーを持ち歩くなどの意識がリスク軽減につながります。

市では、不審者対応を学ぶ研修会を実施。さらに、市民安全指導員や地域、自主防犯団体による防犯パトロールなど、犯罪者を寄せ付けない環境づくりに取り組んでいます。今後も、警察や地域と力を合わせ、安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

☎ 25-2148 交通安全課

募集

地域で子育て支援

地域で子育てを支援するボランティアや提供会員を募集します。



ファミリー・サポート・センター会員

対象 子どもの一時的な預かりや、保育施設への送迎などができ、講習会を受講できる市内在住の方15人

《講習会》

日時 3月5日 9時50分～16時45分  
6日 9時30分～17時 (全2回)

場所 あつぎ市民交流プラザ

※託児あり (1歳～小学3年生5人。2月18日までに要予約。先着順)

☎子育て支援センターや公民館にある申込書と証明写真2枚を、2月3～18日に直接子育て支援センター☎225-2933へ。先着順。

子育てアドバイザー講習会

日時 3月5日 9時50分～16時45分  
6日 9時30分～17時 (全2回)

場所 あつぎ市民交流プラザ

内容 子どもとの関わり方を学ぶ

対象 市内在住で地域の子育て支援に携わりたい方15人。託児あり(1歳～小学3年生5人。2月18日までに要予約。先着順)。別途保育所実習(半日)が必要。全日程修了者に認定証を交付。

☎2月3～18日に子育て支援センター☎225-2922へ。先着順。☎

あつぎ地区  
看護職合同  
就職相談会



厚木地区の13病院が一堂に会して、就職相談会を開催します。

《日時》 3月8日 12時30分～15時30分

《場所》 あつぎ市民交流プラザ

《内容》 病院の説明会と市内3カ所の看護学校による相談コーナー(キッズスペースあり)

《対象》 看護職を目指す方や就職したい方、子育てや休職中で職場復帰を考えている方

《費用》 無料

☎不要。

■看護職復職支援研修

復職・再就職希望者のための研修です。

《場所》 市内・愛川町・清川村の病院

《内容》 基礎知識や技術の学び直し、最新の医療技術習得

《対象》 市内・愛川町・清川村在住で看護師免許を持ち、看護師として勤務していない方

《費用》 無料

☎電話で希望する病院へ。☎厚木地区看護部長会☎284-2121

# タウンガイド

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 🗄=講座予約システム (70th)=市制70周年記念事業  
 📺愛TV 2/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「一斉放水」

#1月12日撮影  
 #消防出初め式  
 #火の用心  
 #niceatsugi  
 市公式インスタ  
 グラムで公開中



### 70th 参加者募集

## あつぎ飯山桜まつり 花音頭・さくら輿



春の訪れを告げる桜の下、祭りを一緒に盛り上げる方を募集します。厚木の春を楽しみませんか。

☎商業観光課 ☎225-2820

《日にち》3月30日

《場所》飯山白山森林公園桜の広場

■花音頭

《対象》練習会に参加できる方

《練習会》3月中旬(全3回)。小鮎公民館

◆さくら輿

《対象》高校生以上の女性

いずれも初心者可。無料。☑3月5日◆19日までに市観光協会 ☎240-1220へ。協会HPからも申し込み可。抽選。  
 詳細はこちら



### 斎場施設見学会

2月17日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☑2月1～16日に市斎場 ☎281-8595へ。先着順。

### ベビーマッサージ

3月7日、10時30分～11時30分。あつぎ市民交流プラザ。オイルを使ったマッサージで赤ちゃんとの関わり方を学ぶ。市内在住の保護者15人(生後1～6カ月の赤ちゃん同伴。保護者は1組2人まで)。300円(オイル代)。☑2月6～26日に子育て支援センター ☎225-2922へ。抽選。🗄



### 博物館実習生を募集

あつぎ郷土博物館で実習を希望する方を募集します。《対象》博物館の基本科目を修得した方3人《期間》7月25・28～30日、8月18～20日、9月6日《費用》

300円(テキスト代)。☑2月3～28日にあつぎ郷土博物館 ☎225-2515へ電話し、申込書を提出。面接あり。詳細は市HPに掲載。

### 地域計画(案)の公告・縦覧

地域農業を維持するための計画案の縦覧などを実施します。

《期間》2月3～17日《場所》農業政策課、市政情報コーナー、市HP《意見書提出》計画区域内の農地と利害関係のある方(農地所有者・耕作者など)のみ可。提出方法は閲覧場所にある用紙に掲載。☎農業政策課 ☎225-2800。

### 本厚木駅連絡所の臨時休業

2月18・19日は駅ビル休館のため、連絡所・観光案内所業務を休業します。☎市民課 ☎225-2110。

### みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》  
 廃棄物処理施設の立地(設置)の考え方

《閲覧期間》2月3日～3月4日《閲覧場所》環境事業課、環境政策課、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙に掲載。☎環境事業課 ☎225-2793。

《意見交換会》  
 アミューあつぎ駐輪場の有料化

2月25日、19～20時。あつぎ市民交流プラザ。手話通訳・要約筆記あり。☑不要。☎生涯学習課 ☎225-2512。

厚木市 市民参加

検索

### 70th 緑のまつり ステージ出演団体 出店者・協賛者

美しい花に彩られたステージでパフォーマンスを披露する団体や緑化や環境に関する活動をPRする出店者などを募集します。

■「花と緑のステージ」出演団体

内容 ダンス、楽器演奏など(1団体15分以内。移動・準備時間含む)

対象 3人以上の団体

◆出店者

内容 緑化や環境に関する展示、即売、体験など

対象 市内や近隣市の企業・学校など

●70周年を記念したフラワーカーペット設置の協賛者

対象 祭りの趣旨に賛同する企業など(個人は不可)

掲載方法 会場内で企業名などを2日間掲示

いずれも5月10・11日、10～16時。厚木中央公園。

☑公園緑地課や公民館、市HPにある申込書を直接または郵送、ファクス、Eメールで3月●1日◆3日(必着)までに〒243-8511公園緑地課 ☎225-2412・FAX 225-3027・✉4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。■は抽選◆は書類選考あり。詳細は市HPに掲載。



詳細はこちら

### ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2043

### 1月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆厚木出身の人が活躍しているのはうれしい/30代女性 ◆住んでいると感じにくい対談したお二人の言葉から厚木の魅力を再確認できた/60代男性 ◆引き算の演出って何だろうと思給食の動画を見たが自然体の表情・笑顔・様子がすてきだと感じた/50代女性 ◆厚木高校の生徒による交通混雑緩和の実証実験はいい試みだと感じた/70代男性 ◆金澤翔子さんのイベントに参加したい/50代女性

### 編集後記

6人の方に厚木の魅力やどんなまちになってほしいかを聞きました。自然や住みやすさ、お気に入りの場所など皆さんが思う魅力はさまざまでしたが、「このままでいてほしい」と口をそろえていたのが印象に残っています。新しいことに目を向けるだけでなく、変わらないものを大切にしたいと改めて感じました。今回の紙面が、70周年の節目を迎えるこの街を振り返るきっかけになればうれしいです/佐々木

### 市制施行60～70年の歩み

- 2016年
  - 3月 あつぎこどもの森公園オープン
- 2017年
  - 12月 新・市立病院全面オープン
- 2018年
  - 1月 新東名高速道路・厚木南C～海老名南JCTが開通
- 2019年
  - 1月 あつぎ郷土博物館オープン
  - 12月 新型コロナウイルス感染症が中国で発生
- 2021年
  - 7月 東京2020五輪・パラリンピック開催
- 2022年
  - 3月 新・厚木北児童館オープン
  - 4月 パートナーシップ宣誓制度スタート
  - 8月 新・北部学校給食センターオープン
- 2023年
  - 3月 厚木のどん漬が文化庁の100年フードに認定
  - 5月 新型コロナウイルス感染症が5類に移行
  - 10月 子どもの医療費助成を18歳まで拡大
- 2024年
  - 4月 市立小・中学校の学校給食費無償化
  - 7月 複合施設の建設工事着工  
厚木が舞台の映画製作が決定
  - 11月 厚木市民朝市50周年
- 2025年
  - 1月 文化会館リニューアルオープン
  - 2月 市制施行70周年

2017年、新・市立病院が全面オープン。地域医療の中核として診療科目ごとに専門医を配置し、最先端の医療を提供しています。



救急・がんなど地域に寄り添った医療体制を整備



#### 地域の温かさを大切に

市立病院

工藤 万葉さん (23・三田南)

高校時代のボランティア活動をきっかけに社会福祉士を目指し、地元の病院に就職しました。退院支援や医療制度の説明、患者さんや家族の意向、病状に合わせた病院・施設への転院などをサポートしています。通勤で通る川沿いの道は、季節の移り変わりを感じられるお気に入りの場所です。

地域の関わりが希薄になっていると言われますが、小学生の頃から見守り活動や近所の方との交流があり、人の温かさを感じて育ちました。これからも地域との関わりを大切に、子どもや高齢者に寄り添うまちであってほしいです。

2024年4月から市立小・中学校の学校給食費無償化を開始しました。保護者の負担軽減や子どもたちの食環境を社会全体で支えています。



地場農産物も給食に取り入れている

#### 安心して子育てできる

遠藤 裕佳里さん (40・妻田)



子育てしやすいまちだと聞き、子どもが生まれるタイミングで市外から引っ越してきました。最初は知り合いがいなくて不安でしたが、児童館に行ったのがきっかけで知り合いが増え、子育てや生活の悩みを共有できました。休日は、ほうさいの丘公園に遊びに行ったり市のイベントに参加したりと、家族で楽しく過ごしています。

厚木は子どもの成長に合わせたサポートが手厚く、安心して子育てできる環境だと思っています。これからも他の市に先駆けて、新しいことにチャレンジするまちであり続けてほしいなと思います。

2008年から厚木市と市内5大学(神奈川工科大学・松蔭・湘北短期・東京工芸・東京農業大学)の学生が連携し、イベントや講座を開催しています。



SDGsを楽しく学ぶボードゲームを作成

#### 多くのつながりができた

神奈川工科大学 3年

山之内 優斗さん (21・松枝)



大学進学を機に、新潟県から移り住み始めました。学園祭の運営やクラブ・団体を紹介する冊子の編集に携わった他、市の地方創生推進プロジェクトにも参加し、SDGs学習ゲームの厚木市オリジナル版を作成しました。市の職員や他大学の学生など、普段関われない人とのつながりができたのが思い出に残っています。

厚木は田舎すぎず都会すぎない暮らししやすいまちです。何でもそろっていて、駅から少し離れると自然を感じられる場所も多いところが気に入っています。学生が遊べる場所がたくさんあり、若い人でにぎわうまちになればうれしいです。

特集 市制施行70周年

# これからもあつぎで

2月1日は厚木市の誕生日。70周年を迎えるこのまちは、多くの人と共に暮らし、働き、支え合うことで、大きく発展してきました。特集では、このまちに住む人、学ぶ人、働く人に厚木の魅力や思いを聞きました。

◎企画政策課 ☎225-2450

**市制70周年記念サイト**

記念事業の情報やお祝いメッセージなどが見られます。

◎広報シティプロモーション課 ☎225-2040

詳細はこちら

### 2月1日から申し込み

#### 記念かりゆしウェア

70周年記念作品を制作したアーティスト・井上純さんがデザインしたウェアを市観光協会が販売します。◎企画政策課 ☎225-2050

◎販売枚数 200枚

◎価格 1万3000円

◎2月1～28日に市制70周年記念サイトから申し込み。抽選。

**厚木とかりゆしウェア**

沖縄県糸満市と友好都市を結び、クールビズの一環でかりゆしウェアを着用しています。

### 2月1日スタート 記念ナンバープレート

市で交付する原動機付自転車の標識に、70周年記念ナンバープレートを導入します。市制記念日に合わせ、交付初日は土曜開庁します。

◎市民税課 ☎225-2012

◎交付開始 2月1日 8時30分～12時

◎※3日以降は開庁時間に受け付け

◎場所 市民税課

◎対象車種・ナンバーの色

原動機付自転車

- 第1種 (総排気量50cc以下)・白色
- 第2種乙 (総排気量50超～90cc)・黄色
- 第2種甲 (総排気量90超～125cc)・桃色

◎必要書類などを持ち、直接市民税課へ。詳細は市HPに掲載。

#### 誰もが気軽に楽しめる場を

ソニーピープルソリューションズ(株)

宇高 融さん (57)

研究職として、映画の撮影に使うカメラの光学部品やさまざまな電子機器の開発に携わってきました。厚木には市外から20年近く通っており、通勤中に相模大橋から見える川や山々など、自然に囲まれた街並みが好きです。息子が市内の学校に通っていたので、家族としても思い出深いまちで、休日に七沢温泉やお気に入りの飲食店に訪れることもありました。

芸術鑑賞が好きなので、厚木にも大きな美術館などができればうれしいです。文化の面で厚木を楽しんでいる人が増え、まちが盛り上がるしてほしいなと思います。

#### 地元で愛されるお店に

(株)肉の田口

田口 恭介さん (40・妻田)

大学を卒業してすぐに父が営む精肉店で働き始めました。この土地に根付き、続いてきた厚木の名物「厚木のどん漬」などの販売の他、病院や飲食店、学校に食肉を卸しています。先生や子どもたちから直接「おいしかった」「また食べたい」などの声を聞けたときはうれしく、もっと頑張ろうという気持ちになります。

厚木は生まれ育ったまちで、自然と都会のバランスがとれた「ちょうどいいまち」だと思います。市外からも多くのお客さんが訪れるため、店をきっかけに厚木のことを知ってもらいたいです。

#### 生き生きと暮らせる環境

陶山 良子さん (101・戸室)

厚木が誕生した70年前に家族5人で引っ越してきました。当時は、田んぼに囲まれ穏やかだった印象が残っています。子どもを連れて厚木と海老名を結ぶ「もぐり橋」のある相模川沿いによく遊びに行き、屋形船がずらりと岸に停まっていたことを覚えています。地域の防火運動や市の行事に参加したのも思い出です。息子や周りの人たちの愛情のおかげで元気に暮らしています。

時代の流れで、まちの景観が変わり便利な世の中になりましたが、全ての人が暮らしやすいまちであるために、良いところは残すのも大切なことだと思います。

#### 1960年、ソニー(株)厚木工場が設立されました。

他にも、市内には9000を超えるさまざまな事業所があり、まちづくりを支えています。

#### 2023年、「厚木のどん漬」が文化庁の100年フードに認定されました。

食卓だけでなく、お土産や贈答品に選ばれる厚木の名産品です。

お店ごとに違った味が楽しめる

#### 1955年2月1日、厚木町、南毛利村、睦合村、小鮎村、玉川村が合併し、県内13番目の市として厚木市が誕生しました。

相模川付近での防火運動の様子

市政発展の功績をたたえて



597人 150団体を表彰

市制施行記念日の2月1日に合わせ、表彰する皆さんを紹介します。(順不同、敬称略)

秘書課 ☎25-2009

厚木市表彰

自治功労表彰

松田則康

自治表彰

渡邊毅弘

一般表彰

星野初代、飯田敦子、井上敏昭、小澤彰、小泉京子、佐藤由利子、曾根茂、宮本隆、毛利澄夫、作川茂、井内尚子、家入一廣、坂本操、建部圭一、橋本孝義、原英介、渡邊秀一、相田定男、石井正一、小野間善雄、加藤美津枝、中野裕正、中村芳典、山口長夫、井上正吾、江成秀男、伊藤悟、小林秀明、椎名直子、杉山富美子、杉山文則、仲田敏美、中村恵、西迫哲、本杉茂、本杉貴生、守屋光雄、芳賀則人、相原昌紀、石井良三、桑平雅樹、本間賢一、安藤雅浩、飯原和葵、井川圭介、伊藤圭祐、飯牟礼瞬助、梅澤雅裕、大貫昭宏、大貫誠、大野由晃、落合英樹、勝沼新一、加藤慎吾、神谷裕之、川上哲治、窪田恵一、熊澤洋光、小島智宏、小林友一、近藤謙吾、坂上貴浩、笹生隆宏、杉山信和、

スポーツ表彰

鈴木慎哉、芹澤広大、高橋悟、武内敦、田中竜太、露木聡史、内藤努、永井聡、永井隼人、中川謙治、中川治好、永島良成、中村貴明、中山隆史、中山隆次、能條良一、平間美行、星野陽介、松本史生、三橋輝邦、三橋基行、宮本祐次、森久保大輔、諸星聡一郎、横田昌敏、青木誠司、池田正信、遠藤貴士、下島聡、鈴木雅人、古田泉、青木信二、石井晃、遠藤勝、佐々木安雄、堀口恵太郎、松本成美、丸山勝子、堺和二、関陽子、高柳直樹、高宮由香、龍野嘉弘、山口幸恵、原田輝美、前田智司、石川ひろ子、宝田利夫、西清美、松村千恵、頼住道夫、森史雄、市野利光、市野良子、井上聡子、大澤龍、麻績志津子、貝森征行、中塚秀子、松浦達郎、暮らしの保健室あつぎ(私ら)本厚木コープの有志、13番地仲良し会、古松台自治会(ひまわりの会)

コンクールなど

浅谷高一、阿部純平、遠藤心結、大石悠人、北村純一、木下耀太、草野瑠希、郷原麟太郎、杉野森咲衣、鈴木空冬、眞竹春希、吉田将、厚木王子高校吹奏楽部、厚木シビックウインドシフオーニー、厚木中学校吹奏楽部

感謝状

桂子、和田賢慎、和田智亮、和田悠誠、高橋珠花、高橋勇貴、滝沢友梨、田中康文、宇井みのり、馬場薫子、小山明、村上蓮惺、松蔭大学女子バレーボール部、上野央裕、Selfish、中森真海、厚木北高校ゴルフ部、Godshot、松蔭大学女子バスケットボール部

井上克巳、大谷翔平、アオイ、厚木新聞販売組合、アトリエ翔子、管清工業、佐藤電工、市造園業協会、東京応化科学技術振興財団、常盤産業、日本ピーマツク、日本フルハーフ、ノジマ、半導体エネルギー研究所、檜谷薬師講中、平塚信用金庫、プライムケア東京、明治安田生命保険町田支社

70周年記念 特別表彰

市政一般功労

小杉伸夫、畑中靖敏、廣本和枝、山部能宣、横田佳正、金子次好、桐生晃、宮崎昌彦、加藤繁美、小橋慎一、佐藤美弥子、野村成規、花田敦子、船津慎一、森木奈津美、朝倉國夫、齋藤静

文化・芸術・スポーツ功労

雄、高橋功雄、土屋美智子、浅野勉、佐藤忠紘、山上忠雄、神崎吉男、小塩仁、三橋幸成、青木政明、石井高一郎、石井知宏、伊藤輝男、今井利安、内海大介、遠藤好広、大塚洋行、大貫千花、小澤一好、小野浩幸、笠井勢津男、柏木幸夫、加藤寛樹、北原弘康、久保田秀平、小島和裕、小菅堅太郎、佐藤裕隆、佐分利光洋、四野見陽一、杉山聡、壽永純也、陶山幸生、前場弘則、高橋一生、高橋和也、筒井克仁、飛川豪介、長澤隆寛、中村光雄、野原仁、萩原正仁、服部正行、菱沼公貴、平井真一、古川隆二、古性健一、星名真一、松崎喜友、茂庭武、森孝志、山口冬樹、山下味央、山田純也、山田ひとみ、米山公一郎、六反吉和、青木一真、伊藤一、大町智美、郷渡慶一、田中昭一、山口正晃、石川朗、井上美香子、大谷真実、大塚隆、加藤正、小宮裕子、寺田博正、難波好文、宮村貫雄、和田敦、渡辺博士、石川広志、松野賢一、矢部嘉章、大島京子、佐々木健一、長塩辰雄、朝見美代子、横沢義雄、熊坂博、吉田文雄

鈴木茂芳、梶禮子、嶋崎和子、原田政志、大槻千恵子、林泰司、難波益美、芳賀修、三和田春枝、大橋康子、金濱修一、森洋子、安田知司、山崎義明、我妻裕見子、新村一郎、秋本昇、吹野真人、鈴木常夫、吹野純子、野元三枝子、黒阪一彦、坂内和典、小野京子、野田由紀子、稲村穰、前田吉憲、吉川広美、荒武淳、宮川真哉、吉田亨、坂場有華、杉山和也、中川風、阿部将大、笠間泰生、菊島達也、工藤瑠太、佐藤凜弥、松本瑠聖、山本匠真、宇治田宙、遠藤優太、柴悠貴、山中健太、浅野翔天、羽田涼香、宮本元稀、本橋明莉、山口颯太、飯田紗帆、内田結那、疋田隼大、飯田瑛人、MATIAS SEBASTIAN JIRROLOPEZ、安立胡桃、鈴木愛衣、齋藤洋斗、坂元誠規、佐藤一敬、田口絵子、徳永莉久、中村友哉、服部快斗、原田尚大、堀越大悟、榎颯介、山崎恋太郎、内田愛、片桐龍成、川崎励、堺叶々、鈴木花弥、毛利はづき、伊原颯吾、遠藤未桜、後藤陽介、阪口壮真、藤田琉生、緑川大夢、胡龍鳳、島津希乃、下村碧海、杉山珠理、堀越ゆう奈、山本勝太、伊原怜志、高坂真央、渡邊晃佐、高坂明、厚木清南高校定時制サッカー部、厚木剣道クラブ

吉田耀、平田清、小島利明、金井猛次、牟田口洋嗣、茅主税、

《7面に続く》

地域づくり・ボランティア功労

水島達雄、厚木ぐるっと、エス・スクエア本厚木自衛防災隊、まつかげ台・みはる野・鳶尾地区コミュニティ交通運営協議会、會田利夫、入内嶋晃、小畑尚道、勝田正紀、菊池岳、坂井克之、嶋田博之、関根賢治、関谷茂、橋本和典、馬場恵里子、馬場博典、福田将也、山下尚晃、井萱佐吉、石井ヒデ子、伊藤桂、梅津達幸、大塚清一、鈴木明司、鈴木繁子、橋本勝彦、山崎喜代子、横本久、厚木児童思春期精神保健ネットワーク推進委員会、伊藤勉、厚木おはなし会、厚木中学校ボランティア活動部、糸の会、うぐいす、依知北地区安心・安全なまち会議、上三田自治会青パト隊、そりだハイツ花の会、チーム19、妻田市場夢クラブ、トーマイフロークラブ、防犯パトロールブルーライン、鳶尾五丁目青空子ども会、戸室小田急住宅自治会ボランティアサークル花の会、花のボランティア、フラワーメイト、陸合南地区安心・安全なまち会議、森の里長寿会、読み聞かせ交流会、若葉会、竹中たみよ、升本多恵子、八尾則一、小笠原茂、渡邊宇之助、會田俊彦、干場芳子、川崎貴美、亀谷富由樹、落合和子、三田茂徳、塩塚重正、池田美峰、菊地孝幸、田原貞夫、小谷野誠一、高橋佳代子、柳川秀夫、栗田照雄、依知北地区文化振興会、依知神社囃子太鼓保存会、森屋知之、山本忍、フラワーパーク下依知実行委員会、金田上部見守り隊、下依知愛の目「未来会」、本厚木スカイハイツ見守り隊、中依知見守り隊、大澤雄次、森住勝夫、山口末夫、

井上英男、小澤隆、溝口博之、印南美智子、上三田自治会青年健全育成会、川島浩平、又村富士夫、小池明子、塚原一恵、福山発身、小池桂子、杉山孝夫、岩崎鍾、西田保、高橋育子、小林良平、小林修、正木公一、陣口小夜子、佐久間新一、荻野小学校花植えボランティア、荻野の歴史を学ぶ会、杉山弘美、遠藤三鈴、木野順子、屋宜敏之、曾雄浩和、小鮎ボランティアの会、小鮎川さくら小路の会、荻山清治、田澤和夫、上原敏郎、三橋敏明、三橋政行、杉山宣夫、小町里山の会、井上好枝、西村恵二、川嶋俊夫、山崎一三雄、瀧本清、大山裕一、縄田奈緒美、能條文子、栗原禮子、山崎健一、高橋マサ、能條静子、内藤大輔、田中弘明、蝦名恵子、村館由紀子、菅正清、関口藤緒、猪瀬久美子、堀早苗、後藤良昭、成田正一、川瀬君恵、山田善治、牧田元春、宮原ますみ、田村健二、田中重行、前川新悟、前田淳一、竹内俊夫、井上裕之、高田祥子、竹林康子、徳田勝彦

未来へつながる一歩功労

三橋叶大、あつぎキッズゲルニカプロジェクト・あつぎキッズゲルニカ実行委員会、神奈川工科大学学生自主防犯ボランティア団体K A I T B L U E、佐々木蒼、中嶋優翔、五十嵐遼太郎、平井かえで、依知中学校美術部、荒川心優、浅岡祐希、鈴木大河、貝塚景、大貫快智、菅野航太、小井手愛菜、小井手姫菜、小塩育、照井宏奈、太田和信也、二角莉央、西尾りん、厚木王子高校弓道部・人形浄瑠璃部・簿記部・マーケティ

ング部、厚木西高校合唱部・吹奏楽部、天利楓、厚木中央高校防犯パトロール隊、鈴木梨花、専門学校神奈川総合高等学校高等課程チームオペレーターコースター、星槎国際高校厚木学習センター地域貢献ゼミ、専門学校神奈川総合大学環境ボランティアサークル、厚木総合専門学校T E A M F o o d L a b o . ファッションイベントサークルチームA F C ・ブラッティング指導チームしかたま、鈴木学園ボランティアサークル豊友会、M A L L A P O O N A M、東京農業大学厚木キャンパス収穫祭実行委員会・自然教育研究会ネイチャーズクラブ・農友会ウインドオーケストラ部、神奈川工科大学K A I T E D T C、東京工芸大学からくり工房・ミドラボ、湘北短期大学おやこ図書館・学友会福祉委員会・総合ビジネス・情報学科情報メディアアコース、榛村浩輔

感謝状

小川修、貝原剛規、徳武巖、中村幹夫、中山幸恵、難波香織、野元薫、野元優子、村松マユミ、山口康子、山本隆弘、山本治夫、吉田陽子、厚木うきうきクラブ、あつぎ・クロス・ゆう、厚木県央ロータリークラブ、厚木愛甲地区更生保護女性会、市園芸協会花き温室部会、市ゴルフ協会、市全国県人会連合会、市日本中国友好協会、厚木小学校創立150周年記念事業実行委員会、厚木商工会議所、厚木商工会議所女性会、市立小中学校P T A 連絡協議会、南毛利小学校P T A、厚木薬剤師会、厚木ライオンズクラブ、厚木さつ

きライオンズクラブ、厚木もみじライオンズクラブ、厚木マルベリーライオンズクラブ、A F U R I、あゆみ会、A L B I R E O 神奈川、市歯科医師会、石井、伊藤園厚木支店、裕源、リマインド、ノジマ教材、県央地区ビル管理協議会、松蔭大学看護学部、鈴木内科クリニック、扇松流家元扇松寿菊及び門下生一同、ソニーセミコンダクタソリューションズモバイルイメーシングシステム事業部、東京農業大学、トータル道路、ドミノ・ピザ本厚木南口支店、西仲自治会、フルハーフサービス、光レジン工業、福元館、本厚木ロータリークラブ、毎日新聞本厚木西部販売所、読売センター厚木中央、読売センター厚木鳶尾、読売センター厚木南部、読売センター厚木山際

教育委員会 表彰

教育の振興・発展に貢献された皆さんを表彰します。教育総務課 ☎25-2600 石黒葉子、上田達也、海老澤栄美、遠藤和子、大角政彦、小笠原貴幸、亀山裕子、菊地敏夫、熊崎昌司、佐藤史朋、鈴木保、高橋浩、田所貴美、田中英明、堀俊次、松前進、松本真美、室田陽子



受賞者の詳細は市HPに掲載



厚木・秦野・伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村が観光振興で連携している「県央やまなみ地域」の魅力を、毎月順番に紹介します。紙面では伝えきれない5市町村の観光にまつわるコラムを、ニュースサイトでも紹介します。

第9回 春を彩る秦野の桜

春になると、丹沢のあちこちで桜が花を付け始めます。表丹沢の秦野には、尾根を背景に視界をピンクに染める名所が点在しています。沢のほとりに凛と立つ一本桜、道路や川沿いに続く桜並木、そして桜の名物グルメ…。



秦野・養毛の淡墨桜

さまざまな桜便りに触れることができます。

ニュースサイトで詳しく紹介しています▶

商業観光課 ☎225-2820



30枚ほど書した中から渾身の一枚を披露

「一年の計は元日にあり」。皆さんは新しい年に、どんな目標を立てましたか。1月6日の年頭会見、多くの記者の皆さんを前に、今年の一文字を披露しました。私が市政運営を進める上での思いを込めて色紙に揮毫したのは「誇り」です。

2月1日、厚木市は市制施行70周年を迎えます。文化会館で開催する記念式典を皮切りに、市内を舞台にした映画製作など、心に残る多彩な記念事業を計画しています。映画は、厚木出身の榎原郁恵さんや、鈴木京香さん、名取裕子さんが決まり、夏頃から撮影が始まる予定です。記念事業などを通して今の厚木を知り、築き上げてきた先人の思いに触れ、70年の歩みを振り返る一年は、あつぎ愛を深め、「誇り」を感じていただける年になると確信しています。きっと誰しもが何かの誇りを胸に日々を送っていると思います。私自身、あつぎプライドを心に刻み、市長としての重責を担わせていただいています。市制70周年を節目に、厚木で暮らしていることが皆さんの誇りの一つになるよう、より良いまちを築いてまいります。

# 市内出身のアーティストが制作 70周年記念作品を展示

アーティスト・井上純さんが市制70周年のキャッチフレーズ「未来へ一歩つながるあつぎ70年」をテーマに作品を制作しました。

☎文化魅力創造課 ☎225-2508



井上さんと記念作品「今」。2枚の絵で一つの作品となる

《場所》市役所本庁舎

《期間》2月3日～

制作風景の動画を  
記念サイトで公開



### 井上さんが作品に込めた思い

向かって左側のモノクロの作品は、今の暗くネガティブになりがちな世の中を、力強く生きていこうという思いを込めました。右側は、みんなが素直に生き生きとしている、未来への希望を表しています。見た方の心を浄化できる作品になればうれしいです。

## 70th まちづくりフォーラム

# 映画「キリコのタクト・YELL」 キックオフイベント

無料

厚木を舞台に2025年夏に撮影を開始する映画の監督らによる講演会や、出演者による座談会などを開催します。

☎企画政策課 ☎225-2450

日時 3月8日 10時30分～12時 場所 文化会館

- 内容 ①講演会「映画によるまちづくり」
- ②監督や市長による討論会「市制70周年記念映画が未来にもたらすもの」
- ③宅麻伸さんなどによる座談会
- ④第1次オーディション合格者による合唱披露

対象 市内在住在勤在学の方600人

☎企画政策課や市HPにある申請書を直接または郵送、ファクスで2月20日(必着)までに〒243-8511企画政策課☎225-3732へ。抽選。市HPからも申し込み可。



詳細はこちら

## 同日開催 映画出演者第2次オーディション

出演者を決めるオーディションを開催します。

☎広報シティプロモーション課 ☎225-2040

役柄 ①キリコの教え子の家族②看護師、高校教師、警察官、病院関係者など

対象 市内在住在勤在学の①5～8歳の女性1人②16～60歳12人程度

☎2月15日までに市HPから申し込み。詳細は市HPに掲載。



詳細はこちら

### 出演者決定

原田貴理子役の鈴木京香さんや厚木出身の榎原郁恵さんなどの出演が決まりました。



鈴木 京香さん



名取 裕子さん



榎原 郁恵さん



宅麻 伸さん

## 自然歳時記

### ●フユイチゴ● バラ科

常緑小低木で冬に赤い実を結ぶのが名の由来。葉はクチクラ層で覆われ分厚く、冬の寒さに負けない。秋に花が咲き、冬の実にはメジロやヒヨドリがよく食べる。飯山白山森林公園で見つけた。 写真・文/吉田文雄



夏は暗かった林床も木々が葉を落とし、明るく見通しが良い。林縁に緑に茂った葉が見え、近づくと赤いフユイチゴの実が輝いていた。

誰が食べたのか赤い数粒が葉の下に落ちていた。一粒口に含むと、甘酸っぱい味が広がり新鮮な気持ちと意欲が湧いてきた。元気を出し

て坂道を進むと、メジロたちが「チーチー」と鳴き交わしながら赤い実の方へと飛んでいった。

滋養強壮、疲労回復などの薬用効果があるフユイチゴ。澄んだ空気と森からの贈り物で、小さなメジロたちも元気にこの冬を乗り切ってほしいと願った。

厚木市の人口  
(1月1日現在)

🏠 世帯数 10万6318世帯 (前月比3世帯増)

👤 人口 22万3544人 (前月比93人減) 男11万5192人・女10万8352人